



学校と家庭との「つながり」を深める

具体的な取組み例

●保護者との研修の場の設定

学校は、PTA総会などの中で、キャリア教育に関する研修の場を設けて、キャリア教育についての取組みを家庭と共有しましょう。

また、学校での子どもの様子や家庭での子どもの様子についても互いに伝え合い、子どもの育ちを支援しましょう。

●家庭での役割が人に役立つ喜びへ

学校と家庭が協力して、子どもたちに家の手伝いなどの役割をもたせて達成感や成就感を味わわせましょう。

そして、家庭での役割に責任をもつことを通して、社会での役割意識を育てましょう。



小学生と「おやくろの会(寺西塾)」とで、学校のそばのたんぼを借りて稲を育て、秋にみんなで収穫をしました。
(東広島市立寺西小学校)

家庭が果たすべき役割

以前は、子どもたちは、家庭での体験を通して、社会人・職業人となるための準備を行っていました。

現在においても、家庭での教育が子どもの人生のすべての出発点であることを確認し、働くことの意義を子どもに伝えていく必要があります。

改善の考え方

家庭は、本来の教育力を発揮するために、学校との「つながり」の中で、子どもたちの社会人・職業人としての自立を促していくことが大切です。

●子どもたちと語る機会の拡大

家庭では、職場体験やインターンシップなどについて話題にしながら、働くことの意義や将来の目標について、子どもと語る機会を増やしましょう。